



お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センター Tel.86-0112

認知症を正しく理解しよう！
白鷹町認知症啓発のとりくみ②

前回に続いて、「白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク協議会」の活動を紹介します。

○地域で認知症についての相談にのり、認知症のかたとその家族を支えます

認知症高齢者見守りネットワーク協議会委員は、地域や団体の集まりなどで認知症や介護の情報を発信し、受けた相談を地域包括支援センターにつながる一緒に支援するなど、地域で活動を行っています。

○「認知症の人と家族の会の活動を支援します」

認知症のかたとその家族の相談や、互いの交流を支援しています。

○「介護マーク」で、介護への理解を広げます

初期の認知症など介護が必要と周囲にわかりにくいかたを介護するとき、「介護マーク」を身につけることで周囲に介護中であることを示します。

健康福祉センターで交付しています。ご希望の方はお問い合わせください。



(使用例)

- ・介護を受けるかたの介助のため、一緒にトイレに入る
- ・介護しているかたの下着を購入する
- ・認知症のかたと手をつないで外出する

◇ ◇ ◇ ◇

認知症のかたを介護するときには、介護者や家族だけで抱えこまないことがとても大切です。初期の認知症の場合、【高齢者は自分がもの忘れをするこへのとまどいから】

【家族は「誰かに話したら高齢者が傷つくのではないか」という気づかいから】周囲に相談せず認知症が進行してしまうことがあります。

そこで、近所のかたが「元気がだ」「がんばりすぎねえな」など声をかけることで、認知症のかたやその家族は周囲に相談しやすくなり、認知症や介護のストレスを減らすことができるようになります。

互いに声を掛けあって、相談しあえる地域をつくりましょう。

■ 申込・問い合わせ
地域包括支援センター
☎ 86-0112

「あれっ」と思ったら
ご相談ください。
「物忘れ相談」

物忘れをするようになって心配だとかたやご家族の物忘れでお困りのかたのため相談を開催しています。なお、来所が大変なかたにはご自宅に訪問しております。お気軽にご連絡ください。

▼日時 12月7日(金)
午後2時から4時
(予約制3名まで)

▼会場 健康福祉センター
▼対象 物忘れが気になるかたやその家族
▼相談医 吉川 順 氏
(吉川記念病院院長)

▼申込期限 11月30日(金)まで

■ 申込・問い合わせ
健康福祉課 地域包括支援センター
☎ 86-0112

広告

パレス松風から旬な情報をご案内

新そば祭り開催～そば打ち実演～

日時：平成24年11月25日(日) 午前11時～午後3時迄
会場：パレス松風もりもりハウス
料金：そば一皿目600円 二皿目より500円
特典：そば券提示者に限り入湯《50円》キャッシュバック

パレス松風フロントにてチケット販売中
香り豊かな新そばをどうぞご堪能ください。

オール白鷹産～創作スイーツ発表会
プラチナスイーツプラン

東京白金台の一流ウェディングレストラン「ザ・ハウス白金」の白戸純一シェフがプロデュースする白鷹産食材のスイーツブッフェ。シェフ特製フレンチ(ワインを添えて)と共に優雅なティータイムをお過ごしください。

日時：平成24年12月1日(土) 午後2時～
会場：パレス松風コンベンションホール
定員：100名様限定 チケット：3,000円

パレス松風フロントにてチケット販売中

<<お問合せ>> 0238-85-1001